

ニーズ通信

7・8号

熊本市社会福祉協議会ボランティアセンター 発行
TEL:288-2748/FAX:359-1800
〒860-0004 熊本市中央区新町2丁目4-27

新型コロナウイルスの流行で、私たちの暮らしが変わったようにボランティア活動も変化しつつありますが、大切にしてきたものは変わらないと考えています。

そこで、コロナ禍においても身近なことから無理なくできる活動をご紹介します。



日々の生活の中で不要になったものの多くはゴミとして捨てられがちです。

再利用することで地域や社会のいろんな活動に役に立てることができます。

例えば…

使用済み切手
(古切手)

ペットボトル
キャップ



アルミ缶



書き損じ
ハガキ



…など。

資源を活用することによって街もきれいになり、環境に優しいリサイクル活動にもなります。

受付窓口は沢山あります！

不要になった資源を集めたものが、どのような団体が必要としているのか、何のために役立つのかそれぞれの団体に確認し対応することが必要です。共感し納得できる収集団体に支援してみるのも誰かを助ける大きな手助けになる大切なボランティア活動です。

集められたものは
どうなるの？

回収業者や収集して
いる団体等に買い取
ってもらいます。

得たお金で地域福祉や施設、いろんな国の人々の医療の手助け(世界の子どもにワクチン支援など)にも活用されます。各団体によって支援目的が異なります。気になる情報を調べることも前向きな活動です。

どんなことに
役立つの？

活動することにより自分自身も豊かにし、普段生活の中で自然な気持ちで心掛けできたらより良い社会になることと思います。地道な活動こそが大きな力となります。これからも、こういう繋がりが広がればいいですね。

傾聴ボランティア基礎講座



受講生募集



近年、地域社会において孤立しがちな人たちの悩みの聴く役となる「傾聴ボランティア」への関心と必要性が高まっています。

熊本市社会福祉協議会では、相手を尊重し、様々な思いに耳を傾けることで、相手の心の負担を少しでも軽くすることを目的とした「傾聴ボランティア」を養成してします。

本講座は、「傾聴」に興味のある方や「傾聴ボランティア」として活動されている方を対象に、傾聴の基礎を学び、今後のボランティア活動に活かしていただくことを目的に開催します。

◇ 講師 NPO 法人日本傾聴ボランティア協会 事務局長 山田豊吉 氏

◇ 演題 『傾聴とは（仮）』 ※リモートで講話をしていただきます。

平成11年、「NPO 法人日本傾聴ボランティア協会」の前身である、「NPO 法人ホールファミリーケア協会」を設立。日本で初めて、アメリカより「シニア・ピア・カウンセリング」を導入。その理念を大切にしながら、高齢社会における新たな相互扶助活動である「(高齢者のための)傾聴ボランティア」活動の全国普及を目指して運動を展開中。

同時に、人との関わり方の基本である「傾聴的に関わる・聴く」活動の普及を目指した運動を展開中。



<日時> 令和4年8月20日(土) 13:00~15:00(受付は12:30~)

<会場> くまもと県民交流館パレア 9階 会議室1 (熊本市中央区手取本町8-9)

<定員> 100名(会場参加 50名、オンライン参加 50名)

※ボランティア活動に興味のある方や、傾聴ボランティアとして活動されている方

<申込方法> 熊本市社会福祉協議会ホームページから申込書ダウンロードし、郵送もしくはFAXでお申込みください。また、お電話での申し込みも受け付けております。

<締切日> 令和4年8月5日(金) 定員となり次第締め切ります(先着順)

<参加費> 無料

<その他>

- ・申込みに係る個人情報は、本講座に関してのみ使用します。また、参加者の氏名及び電話番号をくまもと県民交流館パレアに提出しますので、予めご了承ください。
- ・研修風景(写真)につきまして、本会広報誌やHP等に掲載する場合がございますので、予めご了承ください。
- ・新型コロナウイルスの感染状況により、本講座を中止する場合がございます。
- ・1台の機材で複数人参加される場合も、それぞれ申込書の提出をお願いします。



【主催・お問い合わせ】

社会福祉法人 熊本市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒860-0004 熊本市中央区新町2丁目4-27
TEL:096(288)2748 FAX:096(359)1800